

伊予市過疎地域持続的発展計画 新旧対照表

改定前（令和３年９月策定・令和４年３月改定）	改定案（令和４年７月改定）	備考
伊予市過疎地域持続的発展計画 （令和３年度～７年度） 令和３年　　９月　策定 【令和４年　<u>３月</u>　改定】 愛媛県伊予市	伊予市過疎地域持続的発展計画 （令和３年度～７年度） 令和３年　　９月　策定 【令和４年　<u>７月</u>　改定】 愛媛県伊予市	表紙 ●改定月の変更

[illegible]

改定前（令和３年９月策定・令和４年３月改定）	改定案（令和４年７月改定）	備考
8医療の確保 (1) 現況と問題点 本市の医療施設については、病院・診療所等が42施設あり、合わせて325病床を有している。伊予地域では31施設（うち歯科11施設）を有し、大半がこの地域に集中しているのが現状である。中山地域では4施設（うち歯科1施設）を有し、直営の国保歯科診療所が1施設設置されているのが特徴である。双海地域では4施設（うち歯科2施設）を有し、地域に密着した医療サービスを提供している。 しかし、急速な少子高齢化や疾病構造の変化、医療機能の分化が進む中で、市民の医療に対する安心・信頼の確保が求められている。県が策定した第6次愛媛県地域保健医療計画を基に、医療が効率的に提供される体制を構築していく必要がある。 (2)～(3) 略 9教育の振興 (1) 現況と問題点 ア 略 イ 学校教育 地域の将来を担う子どもたちは、地域の宝であり、子どもたちが夢と地域への誇りを持ち続けることができるよう、教育環境を整備することが地域の責務である。 市内には、小学校9校、中学校4校が設置され、校舎などの耐震改修等は完了したものの、非構造部材の耐震対策や老朽化による大規模改修等が求められており、今後、計画的に整備を進めていく必要がある。また、少子化傾向による子どもの減少は深刻な現状にあり、特に、中山地域の 佐礼谷小学校と双海地域の下灘小学校・由並小学校・翠小学校は複式学級であり、児童の減少が著しい。 価値観の多様化・情報化社会の進展・コミュニティ意識の希薄化等、教育にかかわる環境の変化により、様々な問題が生じている。これらを解決するため、学校と家庭・地域のより緊密な連絡・協力体制の確立や児童・生徒間及び教職員と児童・生徒間の信頼関係の確立等を図る必要がある。 Society 5.0（ソサエティ5.0）時代を生きる現代の小中学生達にとって、教育におけるICTを基盤とした先端技術の活用は必須の時代となっている。また、変化の激しい時代を生き抜くには従来の一斉教育だけではなく、多様な子ども達を誰一人置き去りにしない、個別最適化された創造性を育む教育の実現が重要と考え、ICT教育で次世代の人材を育てていく。 学校給食では、平成28年9月から市内全ての小中学校に直営の学校給食センターで対応しており、今後は児童生徒数の減少に伴った運用の見直しの必要性から、民間等の活力を取り入れた持続可能な取組を模索する。 ウ 略	8医療の確保 (1) 現況と問題点 本市の医療施設については、病院・診療所等が37施設あり、合わせて325病床を有している。伊予地域では29施設（うち歯科11施設）を有し、大半がこの地域に集中しているのが現状である。中山地域では4施設（うち歯科1施設）を有し、直営の国保歯科診療所が1施設設置されているのが特徴である。双海地域では4施設（うち歯科2施設）を有し、地域に密着した医療サービスを提供している。 しかし、急速な少子高齢化や疾病構造の変化、医療機能の分化が進む中で、市民の医療に対する安心・信頼の確保が求められている。県が策定した第6次愛媛県地域保健医療計画を基に、医療が効率的に提供される体制を構築していく必要がある。 (2)～(3) 略 9教育の振興 (1) 現況と問題点 ア 略 イ 学校教育 地域の将来を担う子どもたちは、地域の宝であり、子どもたちが夢と地域への誇りを持ち続けることができるよう、教育環境を整備することが地域の責務である。 市内には、小学校9校、中学校4校が設置され、校舎などの耐震改修等は完了したものの、非構造部材の耐震対策や老朽化による大規模改修等が求められており、今後、計画的に整備を進めていく必要がある。また、少子化傾向による子どもの減少は深刻な現状にあり、特に、中山地域の 中山小学校・佐礼谷小学校と双海地域の下灘小学校・由並小学校・翠小学校は複式学級であり、児童の減少が著しい。 価値観の多様化・情報化社会の進展・コミュニティ意識の希薄化等、教育にかかわる環境の変化により、様々な問題が生じている。これらを解決するため、学校と家庭・地域のより緊密な連絡・協力体制の確立や児童・生徒間及び教職員と児童・生徒間の信頼関係の確立等を図る必要がある。 Society 5.0（ソサエティ5.0）時代を生きる現代の小中学生達にとって、教育におけるICTを基盤とした先端技術の活用は必須の時代となっている。また、変化の激しい時代を生き抜くには従来の一斉教育だけではなく、多様な子ども達を誰一人置き去りにしない、個別最適化された創造性を育む教育の実現が重要と考え、ICT教育で次世代の人材を育てていく。 学校給食では、平成28年9月から市内全ての小中学校に直営の学校給食センターで対応しており、今後は児童生徒数の減少に伴った運用の見直しの必要性から、民間等の活力を取り入れた持続可能な取組を模索する。 ウ 略	P48 ●時点修正 P49 ●時点修正

改定前（令和３年９月策定・令和４年３月改定）					改定案（令和４年７月改定）					備考
(2) 略					(2) 略					P52 ●事業内容の名称変更 ●事業内容の追加 ●事業内容の名称変更
(3) 計画（令和3年度～7年度）					(3) 計画（令和3年度～7年度）					
持続的発展 施策区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	備考	持続的発展 施策区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	備考	
8 教育の振興	(1) 学校教育関連施設 ・校舎	中山小学校南校舎内外部大規模改修 延床面積 1,351 m ²	伊予市		8 教育の振興	(1) 学校教育関連施設 ・校舎	中山小学校教室棟長寿命化改良工事 延床面積 1,351 m ²	伊予市		
		中山小学校北校舎内外部大規模改修 延床面積 1,098 m ²	伊予市				中山小学校特別教室棟長寿命化改良工事 延床面積 1,098 m ²	伊予市		
		中山中学校校舎内外部大規模改修 延床面積 2,904 m ²	伊予市				中山中学校教室棟長寿命化改良工事 延床面積 2,904 m ²	伊予市		
		伊予中学校校舎内外部大規模改修 延床面積 1,755 m ²	伊予市				伊予中学校12教室棟長寿命化改良工事 延床面積 1,755 m ²	伊予市		
		郡中小学校校舎内外部大規模改修 延床面積 981 m ²	伊予市				郡中小学校23教室棟長寿命化改良工事 延床面積 981 m ²	伊予市		
							郡中小学校21教室棟長寿命化改良工事 延床面積 3,582 m ²	伊予市		
	・屋内運動場	南山崎小学校体育館改修 延床面積 1,233 m ²	伊予市			・屋内運動場	南山崎小学校屋内運動場長寿命化改良工事 延床面積 1,233 m ²	伊予市		
		中山中学校部室棟改修 延床面積 120m ²	伊予市				中山中学校部室棟長寿命化改良工事 延床面積 120m ²	伊予市		
	・その他					・その他				
	(3) 略					(3) 略				
(4) 略					(4) 略					
10～12 略					10～12 略					

改定前（令和３年９月策定・令和４年３月改定）					改定案（令和４年７月改定）					備考
事業計画（令和3年度～7年度） 過疎地域持続的発展特別事業分					事業計画（令和3年度～7年度） 過疎地域持続的発展特別事業分					P58
持続的発展施策区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	備考	持続的発展施策区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	備考	
1～4 略					1～4 略					
5 生活環境の整備	(7) 過疎地域持続的発展特別事業 ・危険施設撤去	・集会所解体工事 ・秦皇山公園施設解体工事 展望台・休養施設 ・翠地区水車小屋解体工事 ・高齢者共同住居解体工事 ・保育所解体工事 N=2箇所 ・唐川コミュニティセンター解体工事 RC造 A=227.89㎡ ・野中ふれあい館解体工事 SRC造 A=858.54㎡ ・下灘ふれあい館解体工事 RC造 A=1,947.45㎡+142.5㎡ 	伊予市 伊予市 伊予市 伊予市 伊予市 伊予市 伊予市		5 生活環境の整備	(7) 過疎地域持続的発展特別事業 ・危険施設撤去	・集会所解体工事 ・秦皇山公園施設解体工事 展望台・休養施設 ・翠地区水車小屋解体工事 ・高齢者共同住居解体工事 ・保育所解体工事 N=2箇所 ・唐川コミュニティセンター解体工事 RC造 A=227.89㎡ ・野中ふれあい館解体工事 SRC造 A=858.54㎡ ・下灘ふれあい館解体工事 RC造 A=1,947.45㎡+142.5㎡ ・なかやま農産物直売施設解体工事	伊予市 伊予市 伊予市 伊予市 伊予市 伊予市 伊予市 伊予市 伊予市	・地域における治安の維持及び誰もが安全・安心に暮らせる生活環境の整備が期待できる。 以下、同じ。	
6 略	・防災・防犯	略			6 略	・防災・防犯	略			●事業内容の追加